

三木市特定教育・保育施設評価 評価結果報告書
(平成30年度)

園名 (自由ヶ丘認定こども園)

| | 評価基準 | 評価内容 |
|-----|-----------------------------|---|
| I | 心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育 | ○職員間の教育理念や基本方針の共有化は概ねできており、子ども一人一人の健康や家庭環境に配慮し、きめ細かく丁寧な保育を実践している。 |
| II | 異年齢集団での遊びや生活を通して社会性を培う教育・保育 | ○年長組の子どもたちが年少組の世話をする機会を設けるなど、異年齢の子どもたち同士の交流を図っている。 |
| III | 自尊感情を育むとともに豊かな人権感覚を養う教育・保育 | ○「命」の大切さを感じるために、子どもたちが身近な昆虫や植物に接することができるよう、環境構成に配慮している。保育教諭たちは、子どもたちとの関わりにおいて、丁寧な言葉かけを行っており、困っている子どもたちの特性を理解し、保育に生かそうとする意欲が感じられる。 |
| IV | 小学校との連携 | ○就学先の小学校と就学に向けての連絡会を年2回行っている。必要に応じて、小学校教諭が来園することもある。地域の小学校の運動会に参加している。 |
| V | 教育・保育の内容の保護者への説明 | ○理念・基本方針を記載した入園のしおりを入園説明会時に配布し、教育・保育について説明している。年度途中の入園児には、その都度、説明と配付を行っている。毎月の園だより、クラスだより、献立表を配布し、行事等の機会をとらえて、保育内容について説明している。 |

| | | |
|------|----------------------|--|
| VI | 保育教諭の資質向上のための取組 | ○外部研修（含キャリアアップ研修）と伝達研修、園内研修等さまざまな手法により研修を実施している。定期的に職員会議、給食会議等を開催し、経験を積んだ職員からの助言等を得ている。目標管理面接で保育上の悩み等の相談にも応じ、適切な助言を提供している。また、メンター制度を採り入れ、資質向上に取り組んでいる。 |
| VII | 安全管理 | ○毎日、点検表を使って、安全確認を行っている。職員会議で、衛生・安全について注意喚起し、毎月の避難訓練を実施している。園独自の「危機管理ハンドブック」を作成し、事故や感染症発生、火災・地震・不審者侵入に適切に対応できるよう、様々な発生場を設定した、園の現状に即した独自のフローチャートを作成している。 |
| VIII | 地域の子育て拠点としての取組 | ○園庭開放(週2回)、わくわくひろば(週1回)、インターンシップや職場体験の受け入れ、小学校の運動会参加等、地域との交流や学校と連携した取組を行っている。 |
| IX | 地域において子育て支援を行う団体との連携 | ○地域のボランティア団体による紙芝居等、地域において子育て支援を行う団体との連携に努めている。 |